

聞き書き養成講座のご案内

「聞く」ことから、はじまる 「聞き書き」の意義とその手法

「聞き書き」とは

一人語りの文章

聞き手と話し手の会話から始まる「聞き書き」

聞き手と話し手の会話から、
聞き手の話を除き、「聞き書き」は、
話し手の一人語りの文章。

話し手の「語り口調」を生かしながら、
切り貼りして文章をまとめる。

文章を読むと、話し手、その人の人生と
個性が、浮かびあがってくる。

聞き書きと歴史

郷土史や民族調査は事実・史実の積み重ね。

それらの行間を埋める作業が「聞き書き」

その人のなりわいや想いを通じ、
そこに生きた人の人生（関係性）を
浮かび上がらせる。

そして、私たちの
未来の暮らしを考える。

いのちの連続の向こうに、 未来の自分を考える

自叙伝を残すのは、限られた人。
偉人伝が残るのも、限られた人。

普通の庶民の暮らしの中に、
実は大切なものがある。

ひとりひとりの命の重さ、
生きることの豊かさ。

自分の人生に重ねて、
未来の社会・未来の自分を探る。

初めての「聞き書き」養成講座を開催します。

日時

2018年10月14日(日) 13:00~17:00

場所

岡山市勤労者福祉センター（岡山市北区春日町5-6）

講師

渋澤 寿一 氏

環境NPO「樹木・環境ネットワーク協会」理事長
認定NPO法人「共存の森ネットワーク」理事長
農学博士

定員

30人（申込順）

問合せ
申込先

お申込みはFAX、またはE-mailで（※電話不可）
下記申込書の必要事項をお知らせください。

中平徹也（地球温暖化対策地域協議会おかやまエコサポーターズ）
FAX：086-224-7273 TEL：090-2295-5105
E-mail：t-nakahira@kankyo.or.jp



申込書

氏名		所属	
住所	〒		
連絡先	TEL		
	E-mail		

主催：地球温暖化対策地域協議会 おかやまエコサポーターズ

協賛：公益財団法人 岡山県環境保全事業団 この活動は公益財団法人 岡山県環境保全事業団の支援を受けて実施しています。